

# 平成29年度「沖縄力発見創造事業」 企業誘致促進プログラム

～沖縄への事業進出・連携の促進を目指して～



【総務部】

NO.1

内閣府は、本土企業の代表者などに沖縄の優れたビジネス環境や地理的優位性を始めとした沖縄の持つ魅力を理解してもらい、沖縄への事業進出や在沖企業との事業連携などを促進することを目的として、平成29年度「沖縄力発見創造事業」企業誘致促進プログラムを実施しました。

第1回は、平成30年2月28日(水)～3月2日(金)、食品製造関連企業など21社が参加し、第2回は、3月12日(月)～14日(水)、健康食品、製薬・バイオ関連、化粧品製造関連企業など21社が参加して行われました。

## 第1回事業の概要

初日(2月28日)のキックオフミーティングにおいて、沖縄の投資環境や特区・地域制度などについて内閣府及び沖縄県から説明した後、国際物流拠点集積地として「沖縄サザンゲート(ヤマト運輸)」、「那覇空港貨物ターミナルビル(ANAカーゴ)」を視察しました。



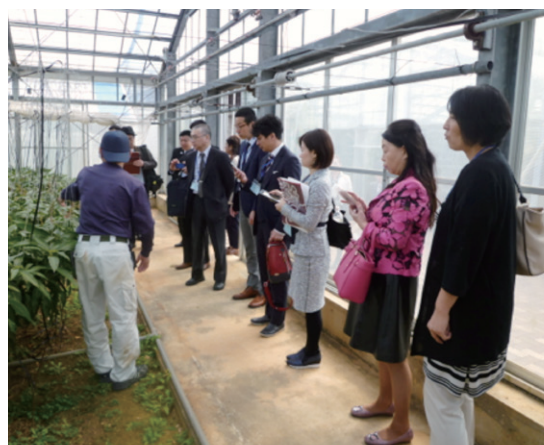
キックオフミーティングで企業支援策などを説明

視察終了後、県外から参加した企業の代表者と、能登内閣府沖縄総合事務局長を始めとする局幹部、沖縄県担当者、県内経済界などの関係者が一堂に会し、ワーキングディナーを実施し、交流を深めました。

ディナーの冒頭、あかま内閣府副大

臣(能登局長代読)から、「本土企業の皆様に、沖縄は今、県外・国外から多くの観光客が集まり空前の好景気にあること、若年労働力が豊富であること、アジアの玄関口としての優位性があることなど、沖縄が有するビジネス環境としての魅力の一端を実感していただき、沖縄進出や事業連携のきっかけになることを期待している。」と挨拶がありました。

2日目(3月1日)は、沖縄科学技術大学院大学(OIST)などを視察し、午後の全体セッションでは、企業支援策や在沖企業から6次産業化の取組などの紹介が行われた後、内閣府、沖縄県、在沖企業などと個別相談



(株)熱帯資源植物研究所の視察

が実施され、活発な意見交換が行われました。続いて行われたワーキングディナーでは、在沖企業・団体と積極的な意見交換が行われました。



参加企業との個別相談

3日目(3月2日)は、農産、水産、畜産の3コースに分かれて視察し、ラップアップミーティングで締めくくりました。



加工食品の素材として参加企業からの関心が高かった、ソデイカやもずくといった沖縄特産の水産物

## 《参加者の声》

### 《ラップアップミーティング》

- 沖縄の特産品を使った商品開発に興味があり改めて来沖して検討したい。
- 多くの方との交流をきっかけとして、沖縄で何らかの事業ができればと考えている。
- 行政の支援策があることを知り、これを利用して何かできないか考えてみたい。
- 海外への物流拠点としての魅力があり、税制優遇措置にも興味を持った。

## 第2回事業の概要

初日（3月12日）は、第1回と同様のプログラムでスタートしました。

同日夜のワーキングディナーでは、県外参加企業の代表者と、幸田内閣府審議官、富川沖縄県副知事、須加原琉球大学理事・副学長、ロバート・バックマンOIST首席副学長など行政、大学を代表する関係者や県内経済関係者との交流が行われました。ディナー冒頭で、幸田内閣府審議官

から沖縄の投資環境の魅力が紹介され、須加原琉大理事・副学長から西普天間住宅地区における国際医療拠点整備について紹介されました。



ワーキングディナー（初日）における意見交換

2日目（3月13日）は、OISTなど視察後、午後の全体セッションでは、在沖企業から次世代ヘルスケア産業などについてのプレゼンテーションや企業支援策の紹介が行われ、前回と同様に内閣府、沖縄県、在沖企業などと個別相談が実施されました。その後のワーキングディナーでも、引き続き企業間の交流を深めました。



琉球大学発ベンチャー（株）Grancellによるプレゼン（左は株Grancellの化粧品）



沖縄科学技術大学院大学（OIST）における意見交換

3日目（3月14日）は、製薬／バイオ関連、化粧品関連の2コースに分かれて視察し、ラップアップミーティングで締めくくりました。



（株）リッチグリーンの視察

## 《参加者の声》

### 《ラップアップミーティング》

- 大変参考になった。東京に戻ったら、早速、他の製薬会社とも協力して、取組を進めたい。
- 沖縄の物流機能を活用すれば、今の収益モデルのままで海外展開ができることが分かった。
- 今の沖縄の勢いを始め、現地に行かなければ分からない生の情報に接することができた。

内閣府では、今回の沖縄力発見創造事業でいただいた様々な御意見を、今後の沖縄振興に活かしていきたいと考えています。